

シラバス(授業内容)

インナービューティ科 2年

ネイリスト専攻

シラバス(授業内容)

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	R2F	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行います。			
目的及び概要	現代社会においてはパソコンが使えるだけでなくパソコンを活用できる能力が必要とされています。1年次で学んだ基礎技能の復習を行いながら、Word、Excel、PowerPointの応用的な機能を学習します。					
到達目標	Wordで表現力のある文書を作成することができる 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける プレゼン資料を作成できる					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版 1年次使用)					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	iPadでお礼状の作成	お礼状の作成			
第2回	2	Gmailとドライブ活用	メールの作成 添付ファイル Googleドライブの活用			
第3回	3	表の活用しよう	Word 表を挿入したビジネス文書の作成			
第4回	4	表現力のある文書の作成	Word 図や図形を活用した文書の作成			
第5回	5	プレゼン作成	PowerPoint 基本操作復習			
第6回	6	プレゼン作成	PowerPoint 画面切り替え効果 アニメーション効果 印刷			
第7回	7	関数を使おう	Excel オートフィル 関数 表の編集			
第8回	8	ワークシートの管理	Excel オートフィルの活用 ワークシートの管理			
第9回	9	グラフ機能	Excel グラフ機能			
第10回	10	Excelで表を作成しよう	Excel 作表まとめ			
第11回	11	招待状を作成しよう	Word 袋とじ印刷			
第12回	12	試験対策	Word 試験対策			
第13回	13	試験対策	Word 試験対策			
第14回	14	期末試験	Word 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説と前期の振り返り			
初回持ち物	iPad、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	R2F	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行う。			
目的及び概要	Word、Excel、PowerPointの応用機能の学習して、活用方法を学びます。					
到達目標	図及び図形を活用した文書を作成することができる。 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける。 プレゼン資料を作成できる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版)					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	表現力のある文書の作成	Word 図と図形の挿入の復習			
第2回	2	罫線を活用してカード作成	Word 差し込み印刷 予約カード作成			
第3回	3	作表とワークシートの操作	Excel 予約表作成、ワークシートの操作			
第4回	4	プレゼン作成	PowerPoint復習			
第5回	5	画像の編集と加工	Officeのフォトレタッチ機能			
第6回	6	ノートの活用と印刷	PowerPoint ノートの活用と印刷			
第7回	7	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第8回	8	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第9回	9	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第10回	10	動画作成	PowerPoint フォトアルバム機能 動画作成			
第11回	11	差し込み印刷	Excel データベース機能 Word 宛名ラベル作成			
第12回	12	試験対策	Excel 試験対策1			
第13回	13	試験対策	Excel 試験対策2			
第14回	14	期末試験	Excel 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説と後期の振り返り			
初回持ち物	USB、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	フレッシュャーズスキル			クラス名	R2F	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	宮崎 愛子					
	実務経験	-	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの間があることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える 					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし(適宜プリントを配布)					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	働くことの意味を考える	私たちはなぜ働くのか／マズローの欲求段階説			
第2回	2	アンガーマネジメント	「怒り」の感情の正体とは			
第3回	3		怒り感情のコントロール方法(自己理解)			
第4回	4		怒り感情との向き合い方・対処法(他者理解)			
第5回	5		クレーム対応／クレームの考え方			
第6回	6	メンタルヘルス コントロール	そもそもストレスとは？ストレスの捉え方			
第7回	7		ストレスの受け取り方／受け流し方を知っておこう			
第8回	8		幸せホルモンとセルフコントロール①			
第9回	9		幸せホルモンとセルフコントロール②			
第10回	10		自分だけのコーピングリストを作成しよう			
第11回	11	アサーティブコミュニケーション	アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション①			
第12回	12		アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション②			
第13回	13		言葉選びと伝え方			
第14回	14	試験	期末試験			
第15回	15	試験解説・まとめ	期末試験解説／FB			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	フレッシャーズスキル			クラス名	R2F	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	宮崎 愛子					
	実務経験	有	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの間があることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える 					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし(適宜プリントを配布)					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	社会人への意識改革	学生と社会人の違い/社会人の評価基準			
第2回	2		信用と信頼/仕事を任せてもらえる人材になるために			
第3回	3	成果をあげる接客テクニック	価値基準からベネフィットの考え方を理解する			
第4回	4		傾聴カレッジ/ベネフィットを引き出すロールプレイング①			
第5回	5		傾聴カレッジ/ベネフィットを引き出すロールプレイング②			
第6回	6		SPIN話法で具体的なアプローチを知る			
第7回	7	アサーティブコミュニケーション	アサーティブの基本/自己表現タイプと心理的ポジション①			
第8回	8		アサーティブの基本/自己表現タイプと心理的ポジション②			
第9回	9	新入社員の自己紹介	第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」①			
第10回	10		第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」②			
第11回	11		相手の心に届く自己紹介を考えよう			
第12回	12		新社会人になった気持ちで自己紹介をしてみよう			
第13回	13	2年間の総まとめ	大切な人に"ありがとう"を伝える			
第14回	14	試験	後期 期末試験			
第15回	15	試験解説・まとめ	試験解説・まとめ			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	就職ガイド			クラス名	R2F	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	新山 和子					
	実務経験	-	人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナーを担当。新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。			
目的及び概要	就職活動に必要な知識の習得を行い実践で活かせるようにサポートします。また、社会人で必要な年間行事マナーを理解し、「働く」ことについて将来のキャリアデザインを考え、卒業後に備えます。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	面接練習	就職活動進捗確認・面接練習			
第2回	2		面接練習			
第3回	3		面接練習			
第4回	4	一般常識	SPI・GAB対策			
第5回	5		適性検査・一般常識対策			
第6回	6	ディスカッション	グループディスカッション対策			
第7回	7		グループディスカッション練習			
第8回	8	社会人とは	新社会人に求められるもの			
第9回	9	ビジネスマナー	ビジネスマナーがなぜ必要か			
第10回	10	コミュニケーション	コミュニケーションの種類～ノンバーバル～			
第11回	11		コミュニケーションの種類～バーバル～			
第12回	12	サービス接遇	サービスマナー・慣用句			
第13回	13	働くことの意義	〇〇〇で働くことの意義			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	モチベーションコントロール	モチベーションアップから得られるもの			
初回持ち物	筆記用具・就職ファイル					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	イベントプロモーション			クラス名	R2F	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師	担任					
	実務経験	-			-	
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める (R2A: 月1限/R2C: 水2限/R2D: 火1限/R2E: 木3限/R2F: 木3限)					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	クラスコミュニケーション	クラス目標/個人目標/リーダー・サブ決め/SAM選出			
第2回	2		マシュマロチャレンジ			
第3回	3	FUSに向けて	FUSについてアンケート(どのようなショーにしたいか)			
第4回	4		FUSについて内容			
第5回	5	スポーツ大会	スポーツ大会(実行委員決め/競技候補)			
第6回	6		競技について話し合い			
第7回	7		競技について話し合い			
第8回	8	クラスコミュニケーション	クラスコミュニケーション			
第9回	9		クラスコミュニケーション			
第10回	10	学園祭	学園祭について(出し物候補)			
第11回	11		学園祭について(役割決め/作成物)			
第12回	12		学園祭について(役割決め/作成物)			
第13回	13	期末試験について	夏休みの過ごし方/期末試験について/夏季休業中の登校につ			
第14回	14	行事準備	学園祭/スポーツ大会			
第15回	15	アンケート/振り返り	学校生活アンケート/前期振り返り			
初回持ち物	iPad					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		イベントプロモーション			クラス名	R2F	
1年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師		担任					
		実務経験	-			-	
目的及び概要		学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標		就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1	目標・FUS	後期目標／リーダー・サブ決め／FUSについて動画視聴				
第2回	2	FUS	FUSについて				
第3回	3	学園祭	企画書作成 / 概要詳細決め				
第4回	4	学園祭	ルール説明				
第5回	5	学園祭／スポーツ大会	概要説明				
第6回	6	スポーツ大会	出場競技決め				
第7回	7	スポーツ大会	ルール説明				
第8回	8	FUS	演出について				
第9回	9	FUS	各クラステーマ・コンセプト決め				
第10回	10	FUS	個人コンセプトシート作成・提出				
第11回	11	FUS	ウォーキングレッスン				
第12回	12	FUS	ウォーキングレッスン				
第13回	13	FUS	ウォーキングレッスン				
第14回	14	FUS	ウォーキングレッスン				
第15回	15	アンケート	学園生活アンケート				
初回持ち物		AIEノート、筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験	筆記試験		
		・定期試験や小テスト			実技試験		
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上	
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上	
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上	
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合					

シラバス(授業内容)

科目名	ネイルケア			クラス名	R2F	
1年単位	前期	3 単位	後期	6 単位	1年合計単位	9 単位
2年単位	前期	6 単位	後期	2 単位	2年合計単位	8 単位
担当講師	内山美代志 ・ 平光真理 ・ 大久保香織					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実も。経験を持っているJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく			
目的及び概要	ネイル技術の根幹となるネイルケアの基礎を身に付け、検定やサロンワークに対応できる応用力を身に付ける。					
到達目標	テーブルセッティングからカラーリングまでの工程と爪に関する専門的な知識を身に付け、各検定合格を目指す。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-6	JNEC1級検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ●テーブルセッティング、 ●爪のカットスタイル、ファイルストロークの見直し ●プレパレーション 			
第2回	7-12					
第3回	13-18					
第4回	19-24					
第5回	25-30	JNAジェル検定中級対策	<ul style="list-style-type: none"> ●テーブルセッティング ●ファイリング(ラウンドスタイル) ●プレパレーション ●ジェルカラーリング(フレンチ、グラデーション) 			
第6回	31-36					
第7回	37-42					
第8回	43-48					
第9回	49-54					
第10回	55-60	JNEC1級検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ●1級検定総合トレーニング ●タイムトライアル 			
第11回	61-66					
第12回	67-72					
第13回	73-78					
第14回	79-84					
第15回	85-90					
初回持ち物	テキスト、ハンド、筆記用具、1級検定道具一式					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ネイルケア			クラス名	R2F	
1年単位	前期	3 単位	後期	6 単位	1年合計単位	9 単位
2年単位	前期	6 単位	後期	2 単位	2年合計単位	8 単位
担当講師	内山美代志・吉橋友菜					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実も。経験を持っているJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく			
目的及び概要	ネイルケア・カラーリングの安定した技術力と応用力を身に付ける サロンワークを意識した、時短技術やフットケアを学習する					
到達目標	検定だけではなくサロンで生かされるネイルケア技術を習得する					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	総合トレーニング	1級試験に向けてのプレパレーションの見直し			
第2回	3・4					
第3回	5・6					
第4回	7・8	ネイルEXPOトレーニング	ファイリング、ケア、カラーリング(ナチュラルスキンカラー)			
第5回	9・10					
第6回	11・12					
第7回	13・14					
第8回	15・16	時短ケア	ネイルマシン理論			
第9回	17・28		サロンワークでの時短ケア			
第10回	29・20	赤ポリ選手権トレーニング	ネイルケア～カラーリング			
第11回	21・22					
第12回	23・24					
第13回	25・26		タイムトライアル			
第14回	27・28					
第15回	29・30	ネイル理論	爪の解剖学・病気とトラブル・化粧品学			
初回持ち物	1級県に使用する用具溶剤一式・検定試験合格基準・試験要項					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			

シラバス(授業内容)

科目名	ネイル検定対策			クラス名	R2F	
1年単位	前期	-	後期	9 単位	1年合計単位	9 単位
2年単位	前期	7 単位	後期	8 単位	2年合計単位	15 単位
担当講師	吉橋 友菜 ・ 大久保 香織 ・ 益子 結衣花					
	実務経験	有		ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。		
目的及び概要						
到達目標	○公益財団法人日本ネイリスト検定センター(JNEC)2・1級 合格 ○NPO法人日本ネイリスト協会ジェルネイル技能検定中・上級 合格					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	JNAテクニカルシステムジェルネイル					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-7	ジェル検定中級対策	検定概要・合格基準の確認			
第2回	8-14		ジェルフレンチ			
第3回	15-21		ジェルグラデーション			
第4回	22-28		ジェルイクステンション			
第5回	29-35		総合トレーニング・タイムトライアル			
第6回	36-42		総合トレーニング・タイムトライアル			
第7回	43-49	ネイリスト検定1級対策	検定概要・合格基準の確認			
第8回	50-56		アクリル理論・ミクスチャーの形成			
第9回	49-63		フォーム及びチップ合わせ方			
第10回	64-70		アクリルスカルプ			
第11回	71-77		チップオーバーレイ			
第12回	78-84		ミックスメディアアート			
第13回	85-91		総合トレーニング・タイムトライアル			
第14回	92-98		総合トレーニング・タイムトライアル			
第15回	99-105		総合トレーニング・タイムトライアル			
初回持ち物	筆記用具、ジェル検定中級で使用する道具一式					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト			○	実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ネイル検定対策			クラス名	R2F	
1年単位	前期	-	後期	9 単位	1年合計単位	9 単位
2年単位	前期	7 単位	後期	8 単位	2年合計単位	15 単位
担当講師	内山美代志・平光真理					
	実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な技術力と専門知識を身につけ、ネイリスト技能検定試験の最高位の資格取得を目指します。 検定試験の合格基準を理解し技術の向上をはかります。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日本ネイリスト検定試験センター 1級合格 日本ネイリスト協会 ジェルネイル技能検定試験 上級合格 					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-8	JNEC1級対策	総合トレーニング(タイムトライアル) ウィークポイントの集中練習 試験要項・合格基準の確認			
第2回	9-16					
第3回	17-24					
第4回	23-32					
第5回	33-40	JNAジェル検定上級対策	試験要項・合格基準の角印			
第6回	41-48		ジェルイクステンション			
第7回	49-56		手順と時間配分を考える			
第8回	57-64		総合トレーニング(タイムトライアル) ウィークポイントの集中練習			
第9回	65-72					
第10回	73-80					
第11回	81-88	総合トレーニング	試験の見直し(アクリル・ジェル)			
第12回	89-96		認定講師試験内容にチャレンジ (デザインスカルブ等)			
第13回	87-104					
第14回	105-112					
第15回	113-120					
初回持ち物	1級県に使用する用具溶剤一式・検定試験合格基準・試験要項					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	イクステンション			クラス名	R2F	
1年単位	前期	-	後期	3 単位	1年合計単位	3 単位
2年単位	前期	3 単位	後期	6 単位	2年合計単位	9 単位
担当講師	内山美代志・吉橋 友菜・有倉 麻衣子					
	実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要	ネイル技術の中で最も難度の高いイクステンション技術を学ぶ。 爪の状態やお客様の要望に合わせて対応出来るように、様々な技術の特徴を理解しより良い技法を選び施術できるようにしましょう。					
到達目標	資格取得を目標とする ○JNECネイリスト検定1級 ○JNAジェル検定中級					
授業運営方法	演習形式・講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	JNEC1級検定対策	●テーブルセッティング、 ●爪のカットスタイル、ファイルストロークの見直し ●プレパレーション			
第2回	4-6					
第3回	7-9					
第4回	10-12					
第5回	13-15	JNAジェル検定中級対策	●テーブルセッティング ●ファイリング(ラウンドスタイル) ●プレパレーション ●ジェルカラーリング(フレンチ、グラデーション)			
第6回	16-18					
第7回	19-21					
第8回	22-24					
第9回	25-27					
第10回	28-30	JNEC1級検定対策	●1級検定総合トレーニング ●タイムトライアル			
第11回	31-33					
第12回	34-36					
第13回	37-39					
第14回	40-42					
第15回	43-45					
初回持ち物	テキスト、ハンド、筆記用具、1級検定道具一式					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		イクステンション		クラス名	R2F	
1年単位		前期	-	後期	3 単位	1年合計単位 3 単位
2年単位		前期	3 単位	後期	6 単位	2年合計単位 9 単位
平光 真理						
担当講師		実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。		
目的及び概要		アクリルスカルプチュア、ジェルイクステンションの習得				
到達目標		1級合格基準のアクリルスカルプチュア、上級合格基準のジェルイクステンションの習得				
授業運営方法		(演習形式) ・ 講義形式				
教科書		なし				
<授業計画>		後 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-6	アクリルスカルプチュア	1級内容アクリルスカルプチュア			
第2回	7-12	アクリルスカルプチュア	1級内容アクリルスカルプチュア			
第3回	13-18	アクリルスカルプチュア	1級内容アクリルスカルプチュア			
第4回	19-24	アクリルスカルプチュア	1級内容アクリルスカルプチュア			
第5回	25-30	アクリルスカルプチュア	サロンワークスタイルのアクリルスカルプチュア			
第6回	31-36	アクリルスカルプチュア	サロンワークスタイルのアクリルスカルプチュア			
第7回	37-42	ジェルイクステンション	サロンワークスタイルのアクリルスカルプチュア			
第8回	43-48	ジェルイクステンション	上級内容ジェルイクステンション			
第9回	49-54	ジェルイクステンション	上級内容ジェルイクステンション			
第10回	55-60	ジェルイクステンション	上級内容ジェルイクステンション			
第11回	61-66	ジェルイクステンション	上級内容ジェルイクステンション			
第12回	67-72	ジェルイクステンション	上級内容ジェルイクステンション			
第13回	73-78	サロンワーク講習	サロンワークでのトラブル爪に対するイクステンション			
第14回	79-84	サロンワーク講習	サロンワークでのトラブル爪に対するイクステンション			
第15回	85-90	サロンワーク講習	サロンワークでのトラブル爪に対するイクステンション			
初回持ち物		1級内容の道具全て				
成績評価方法		・出席率	定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト			実技試験	
		・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	アート			クラス名	R2F	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師	平光 真理・吉橋 友菜					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持っているJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要	様々なネイルアートの技法を学び、高度な作品表現をしていきます。基礎から応用テクニックまでを習得し、サロン運営で求められる色の選択や最適なデザインの提案ができることを目標としています。					
到達目標	JNEC1級の試験課題でもあるミックスメディアアートをテーマに沿って、自由に表現できる					
授業運営方法	演習形式・講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	ジェルアート	色彩理論、マーブル、タイダイ柄			
第2回	4-6		ジェルグラデーション			
第3回	7-9		ブロッキングネイル、フレンチネイル			
第4回	10-12	中級アート総合トレーニング	グラデーション、フレンチネイル			
第5回	13-15					
第6回	16-18	サロンワークジェルアート	【筆のしなりを学ぶ】フラワーアート			
第7回	19-21		【ラインアート】ツイード、チェック			
第8回	22-24		【ぼかし】大理石、チークネイル			
第9回	25-27		オリジナル作品作成			
第10回	28-30					
第11回	31-33	エンボスアート	アクリルアート理論			
第12回	34-36		5枚花エンボス			
第13回	37-39	3Dアート	3Dお花			
第14回	40-42		ミックスメディアアート			
第15回	43-45					
初回持ち物	初回ジェル検定初級道具一式					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価	基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	アート			クラス名	R2F	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師	平光 真理					
	実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要	検定合格を目指す試験内容アートや技法を身に付け、そこから発展させサロンワークでも生かせるアートを身に付ける					
到達目標	1級、上級合格基準のアートや技法を取得					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	JNAテクニカルシステム ベーシック ・ JNAテクニカルシステム アドバンス					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	ミックスメディアアート	1級検定内容ミックスメディアアートの完成度を高める			
第2回	4-6	ミックスメディアアート	1級検定内容ミックスメディアアートの完成度を高める			
第3回	7-9	ミックスメディアアート	1級検定内容ミックスメディアアートの完成度を高める			
第4回	10-12	ミックスメディアアート	1級検定内容ミックスメディアアートの完成度を高める			
第5回	13-15	ジェルアート	上級内容ジェルを使用したフラワーアート			
第6回	16-18	ジェルアート	上級内容ジェルを使用したフラワーアート			
第7回	19-21	ジェルアート	上級内容ジェルを使用したフラワーアート			
第8回	22-24	ジェルアート	上級内容ジェルを使用したフラワーアート			
第9回	25-27	ジェルアート	上級内容ジェルを使用したフラワーアート			
第10回	28-30	ジェルアート	上級内容ジェルを使用したフラワーアート			
第11回	31-33	ジェルアート	上級内容ジェルを使用したフラワーアート			
第12回	34-36	ペイントアート	アクリル絵の具を使用したサロンワークアート			
第13回	37-39	ペイントアート	アクリル絵の具を使用したサロンワークアート			
第14回	40-42	3Dアート	アクリルパウダーを使用したサロンワークアート			
第15回	43-45	3Dアート	アクリルパウダーを使用したサロンワークアート			
初回持ち物	1級内容の道具全て					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ネイルサロン運営			クラス名	R2F	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	2 単位	後期	6 単位	2年合計単位	8 単位
担当講師	川添 ゆり香 ・ 平光 真理 ・ 吉橋 友菜					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持っている講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要	学内サロン運営を目的とした実習授業です。授業内では実際のサロンと同様にお客様をお迎えしてからのカウンセリング、技術の提供、再来店への誘導などを一連の流れに沿って実践します。実際のサロンを運営することで社会性と実践力を身に付けます。					
到達目標	ネイリストとして少しでも早く戦力になれるように、カウンセリング力と技術を身につける					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-2	ネイルサロンとは	ネイリストの働き方、サロンワークとは			
第2回	3-4					
第3回	5-6	接客について	施術の流れ、カウンセリングについて			
第4回	7-8					
第5回	9-10					
第6回	11-12	サロンワークアート	サロンで使えるアートワーク			
第7回	13-14					
第8回	15-16					
第9回	17-18					
第10回	19-20					
第11回	21-22	サンプル作成	5枚組チップ作成			
第12回	23-24					
第13回	25-26					
第14回	27-28					
第15回	29-30					
初回持ち物	使用教材一式					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249~200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199~150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			

シラバス(授業内容)

科目名	ネイルサロン運営			クラス名	R2F	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	2 単位	後期	6 単位	2年合計単位	8 単位
担当講師	吉橋 友菜					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持っている講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要	学内サロン運営を目的とした実習授業です。授業内では実際のサロンと同様にお客様をお迎えしてからのカウンセリング、技術の提供、再来店への誘導などを一連の流れに沿って実践します。実際のサロンを運営することで社会性と実践力を身に付けます。					
到達目標	ネイリストとして少しでも早く戦力になれるように、カウンセリング力と技術を身につける。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-6	サロンの仕組み	店の運営、料金設定・仕入れ、店の動線、役職を決めてロールプレイング			
第2回	7-12	フットネイル	フットネイルの基礎・ケア			
第3回	13-18	フットネイル	フット皮膚疾患と角質肥厚			
第4回	19-24	フットネイル	フットカラーリング・マシーン			
第5回	25-30	フットネイル	フットジェルデザイン練習			
第6回	31-36	特別授業アート練習	特別講師によるアート練習			
第7回	37-42	技術練習・本番打ち合わせ	本番の打ち合わせ及び当日までのスケジュール作成			
第8回	43-48	当日に向けての練習・準備	本番に向けての準備			
第9回	49-54	当日に向けての練習・準備	本番に向けての準備			
第10回	55-60	サロン準備	サロン運営準備			
第11回	61-66	サロン運営模擬	模擬サロン運営			
第12回	67-72	サロン準備	サロン運営準備			
第13回	73-78	サロン運営1日目	サロン運営本番 1回目			
第14回	79-84	サロン運営2日目	サロン運営本番 2回目			
第15回	85-90	振り返り	サロン運営振り返り・自分のサロン作り			
初回持ち物	使用教材一式、前期使用ノート					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	カラーデコレート			クラス名	R2F	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	2 単位	後期	-	2年合計単位	2 単位
担当講師	岡永めぐみ					
	実務経験	有	パーソナルカラーや色彩心理を使ったカウンセリング、色彩検定等、カラーに関する資格を複数所有する。			
目的及び概要	ネイルを行う上で必要な配色や混色をカラーカードや絵具を使い学習する。色を感覚ではなく理論的に作り上げ、お客様に色の提案をする時に論理的に説明出来るようにする。またパーソナルカラーの知識をもとに、ベースカラーをマスターすることで、お客様にあったカラーやイメージ別、シーン別に合わせた提案をすることが出来る。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・混色の理論が分かる ・パーソナルカラーのベースカラーから似合う配色を理解することが出来る ・季節・イメージ・シーン別に応じたネイルを提案することが出来る 					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-2	色彩基本用語の復習	色彩用語の基本的知識の復習			
第2回	3-4	混色1	色相環やトーン図を用いて混色を学ぶ			
第3回	5-6	混色2	自分の思い描く色、また指示された色を絵具を用いて作る			
第4回	7-8	配色1	色相から配色を考える			
第5回	9-10	配色2	トーンから配色を考える			
第6回	11-12	アンダートーンを知る	パーソナルカラーの知識をもとにアンダートーンの違いを理解する			
第7回	13-14	配色3	アンダートーンをもとに配色を考える			
第8回	15-16	配色4	イメージ別に配色を考える1			
第9回	17-18	配色5	イメージ別に配色を考える2			
第10回	19-20	色彩心理1	色彩心理をもとにシーン別配色を考える1			
第11回	21-22	色彩心理2	色彩心理をもとにシーン別配色を考える2			
第12回	23-24	配色6	季節(イベント)をもとに配色する			
第13回	25-26	試験	試験			
第14回	27-28	試験返却	試験の返却と解説			
第15回	29-30	課題別配色	課題をもとに配色を考える			
初回持ち物	のり、はさみ、カラーカード199、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価	基準(右記合点)	出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	パーソナルカラー検定対策			クラス名	R2F	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	2 単位	後期	-	2年合計単位	2 単位
担当講師	色彩活用研究所(株) 黒川					
	実務経験	有	各種専門学校において、色彩検定、パーソナルカラー検定を10年以上指導。企業様や団体様に向けて、セミナーやイベントなども多数開催している。			
目的及び概要	色彩活用パーソナルカラー検定3級取得する。 パーソナルカラーの技術を身につけ、美容業界で生かせるようになる。					
到達目標	パーソナルカラーについて総合的に学習します。パーソナルカラーとは何か、4つのタイプの色分けといった基本的な部分から似合う色の取り入れ方まで、色の基本やカラーワークなどの演習をしながら身につけ表現力を養います。検定合格に向けて、問題集や小テストを適宜実施し理解を深めていきます。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト3級、公式問題集、パーソナルカラー検定過去問題1冊					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-2	オリエンテーション 色彩の基本①	パーソナルカラーを学ぶ意義 パーソナルカラーとは何か。色の三属性と色相環。カラーワーク演習			
第2回	3-4	色彩の基本②	トーン(しくみ、イメージ)			
第3回	5-6	パーソナルカラーの色分類①	パーソナルカラーの色分類、各タイプの色の特徴について①			
第4回	7-8	パーソナルカラーの色分類②	パーソナルカラーの色分類、各タイプの色の特徴について②			
第5回	9-10	色名・色素とは	色名、色素について			
第6回	11-12	色素と似合う色の関係①	色素の見方①			
第7回	13-14	色素と似合う色の関係②	色素の見方②			
第8回	15-16	色素と似合う色の関係③	色素の見方③とまとめ(自分の色素について)			
第9回	17-18	似合う色と似合わない色について	似合う色と似合わない色の見え方、色と光の関係			
第10回	19-20	ドレーピング実習	ドレーピング実習			
第11回	21-22	似合う色の見え方の理由	対比・同化			
第12回	23-24	似合う色の取入れ方	似合う色の取入れ方、ポイント			
第13回	25-26	検定対策	期末テスト、検定に向けて総まとめ			
第14回	27-28	期末テスト	期末テスト			
第15回	29-30	期末テスト返却・振り返り	返却・振り返り・検定対策			
初回持ち物	*はさみ&のり、筆記用具 *教材一式全4点(①パーソナルカラー検定公式テキスト3級、②公式問題集、③新配色カード199、④新配色カード199用演習用台紙(ピンクの袋ごと))、:*全て使います					
成績評価方法	出席率		定期試験	○	筆記試験	
	定期試験や小テスト				実技試験	
	授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価	基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点	
	点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
	点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
	点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			